

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成31年1月21日)

- 1 毎月勤労統計調査における国の不適切な調査実施について  
【統計課】・・・ 1 ページ
- 2 鳥取県人口移動調査結果（平成31年1月1日現在）の概要について  
【統計課】・・・ 別 冊
- 3 「アートピアとっとり行動指針」（案）のパブリックコメントの実施について  
【文化政策課】・・・ 3 ページ
- 4 第16回鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）の開催結果について  
【文化政策課】・・・ 4 ページ
- 5 鳥取県立県民文化会館フリースペースの暑さ対策について  
【文化政策課】・・・ 5 ページ
- 6 鳥取県スポーツ顕彰の授与について  
【スポーツ課】・・・ 6 ページ
- 7 2巡目国体に係る最近の動きについて  
【スポーツ課】・・・ 9 ページ

地 域 振 興 部



# 毎月勤労統計調査における国の不適切な調査実施について

平成 31 年 1 月 21 日  
統 計 課

1 月 11 日、厚生労働省が、毎月勤労統計調査（国の基幹統計調査）の東京都における調査において、定められた調査方法により調査を行っていなかった旨公表しましたので、その概要を報告します。

なお、当該調査は、法定受託事務として都道府県を通じて実施されていますが、東京都以外の道府県では定められた調査方法により実施されていたことも併せて公表されています。

## 1 厚生労働省の調査により確認された事実

○東京都において全数調査するとしていたところを一部抽出調査で行っていたこと。

平成 16 年以降、全数調査が必要な「常用労働者 500 人以上規模の事業所」について、厚生労働省がその一部を抽出した事業所名簿を東京都に送付し、当該名簿に基づき抽出調査を行っていた。

※全数 1,464 事業所のうち 491 事業所のみ調査（平成 30 年 10 月分時点）

○東京都の抽出調査分について統計的処理として復元すべきところを復元していなかったこと。

平成 16 年から平成 29 年までの調査分の集計について、復元処理が行われていなかった。（平成 30 年 1 月分以降の調査については復元されていた。）

※復元とは、抽出調査で行うべき統計的処理で、母集団の調査結果として扱うための計算

## 2 想定される影響

平成 16 年以降の同調査における賃金額が低めに出ていることから、同調査の平均給与額の変動を基礎としてスライド率等を算定している雇用保険制度等における給付額に影響が生じた。

雇用保険や労災保険等について、延べ約 2,000 万人に対し、約 567 億円の支払い不足が発生した。

【参考：主な利用状況と影響額】

雇用保険、労災保険等（厚生労働省）	参考指標としての利用状況
・雇用保険 約 280 億円	・経済分析（月例経済報告、経済財政白書等）（内閣府）
・労災保険（年金給付） 約 240 億円	・景気動向指数（内閣府）
・労災保険（休業補償） 約 1.5 億円	・国民経済計算の推計資料（内閣府）
・船員保険 約 16 億円	・建設工事の労務単価の算定（国土交通省）
・事業主向け助成金（雇用調整助成金等） 約 30 億円	・人事院勧告の基礎資料（人事院）
	・未払賃金の立替払い（厚生労働省）
	・労働時間短縮の推進（厚生労働省）
	・民間企業における利用

（注）1 影響額については、H31.1.11 の厚生労働省記者発表資料による。

2 利用状況については、厚生労働省の毎月勤労統計調査のホームページによる。

## 3 今後の対応

### （1）雇用保険等の追加給付等

厚生労働省は、国民に不利益が生じることのないよう平成 16 年以降追加給付が必要となる時期に遡って追加給付を実施し、平成 31 年 1 月 11 日（金）から専用の相談窓口を開設し対応している。

### （2）国の基幹統計（56 統計）の一斉点検（1 月 11 日 菅官房長官表明）

今般の事態を踏まえ、政府全体の統計（基幹統計 56 統計）について一斉点検すると表明した。

⇒県としては、点検内容が明らかにされ、国からの指示があり次第、適切に対応する。

<参考：毎月勤労統計調査の概要>

雇用、給与及び労働時間について、全国及び都道府県別の変動を毎月明らかにすることを目的に実施している。

1 調査内容

常用労働者を5人以上雇用する事業所の常用労働者数、現金給与額及び実労働時間数等

2 調査対象事業所

厚生労働省が抽出し、対象事業所を指定の上、「指定事業所名簿」を都道府県へ通知

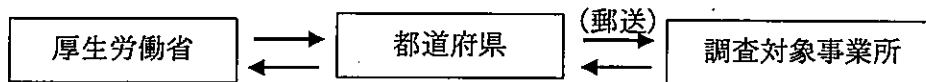
※全国で約 33,000 事業所 鳥取県内では 473 事業所を調査中（平成 30 年 10 月分時点）

※全国の抽出率

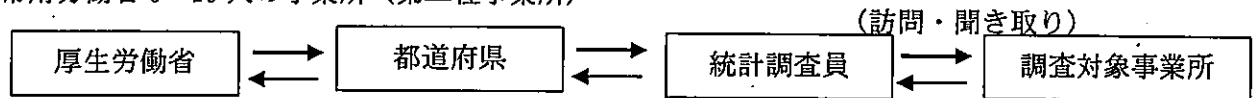
- ・常用労働者 500 人以上事業所 1/1（全数調査）
- ・常用労働者 30～499 人事業所 1/4～1/256
- ・常用労働者 5～29 人事業所 2 段抽出（調査区を抽出し、調査区内事業所から再抽出）

3 調査方法

常用労働者 30 人以上の事業所（第一種事業所）



常用労働者 5～29 人の事業所（第二種事業所）



(注) 第一種事業所及び第二種事業所ともインターネット回線を利用したオンライン調査システムでの提出も可能

4 調査の根拠法令

統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づき、国の重要な統計調査である基幹統計調査として実施している。

調査の詳細は、毎月勤労統計調査規則（昭和 32 年労働省令第 15 号）によって定められている。

5 調査結果

国では、雇用保険、労災保険の給付額を改定する際の基礎資料の他、経済指標の 1 つとして、経済分析や景気判断等に利用されている。

<公表内容：産業別、事業所規模別、性別及び就業形態別の主な公表項目>

区 分	主な公表項目（時系列比較）
常用労働者数	一般労働者数、パートタイム労働者数及び異動状況（常用雇用指数）
現金給与額	きまって支給する給与額及び特別に支払われた給与額等（賃金指数（名目・実質））
実労働時間数等	所定内労働時間数及び所定外労働時間数、出勤日数（労働時間指数）

本県においても、県内の経済動向を把握する指標の 1 つとして、本県や金融機関作成の「経済動向」に利用されている。

# 「アートピアとっとり行動指針」(案)のパブリックコメントの実施について

平成31年1月21日  
文化政策課

平成29年6月23日に改正された「文化芸術基本法(平成13年法律第148号)」において、各地方の実情に即した地方文化芸術推進基本計画の策定が努力義務とされました。

本県としても、鳥取県文化芸術振興審議会や市町村、活動団体等の意見、「鳥取県立美術館整備基本計画」及び「鳥取県障がい者による文化芸術活動推進計画」の内容を踏まえ、本県の文化芸術推進に係る目指す姿や取組の方向性を示す「アートピアとっとり行動指針」(案)を取りまとめました。

については、広く県民の意見を求めるために、以下のとおりパブリックコメントを行います。

※「アートピア」は「アート」と「ユートピア」を合わせた造語です。

※行動指針では、鳥取県が誇る豊かな文化芸術や、地域の歴史・風土、文化財、生活文化などを広く「アート」と捉えています。

## 1 行動指針(案)の概要

### (1) 根拠法令

文化芸術基本法第7条の2

### (2) 計画期間

平成31年4月から5年間

### (3) 取組の方向性 ※内容は別紙のとおり

- ・とっとりで「アート」に親しむ ～環境づくり～
  - ・だれもがアートに親しむことができる機会の充実と環境整備
  - ・アートの拠点である文化施設の充実と新たな拠点づくり
- ・ととりの「アート」が育む・「アート」を育む ～人づくり～
  - ・子どものアート鑑賞・体験機会の充実
  - ・アートを支える様々な人材の育成
- ・ととりの「アート」で元気に ～地域づくり～
  - ・アーティスト等と共に創る地域のアート活動の推進
  - ・地域の「宝」を活かした活力ある地域づくり
  - ・美術館整備に向けた体制づくり

## 2 パブリックコメント実施期間

1月21日(月)から2月4日(月)まで

## 3 これまでの検討経過

- ・平成30年5月17日 第1回鳥取県文化芸術振興審議会において、行動指針素案の検討
- ・平成30年5月～ 市町村文化担当課、活動団体等との意見交換
- ・平成30年7月 文化芸術活動に関するアンケート(県政参画電子アンケート)実施
- ・平成30年11月21日 第2回鳥取県文化芸術振興審議会において、行動指針案の検討

## 4 今後の予定

- ・1月21日～2月4日(予定) パブリックコメント実施
- ・2月 パブリックコメント実施結果に係る常任委員会報告
- ・3月 アートピアとっとり行動指針の策定

# 第16回鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）の開催結果について

平成31年1月21日  
文化政策課

県民みんなでつくる文化・芸術の祭典「鳥取県総合芸術文化祭」のメイン事業及び地区企画運営事業を開催しましたので、その概要を報告します。

## 1 メイン事業

県民自らが携わり質の高い作品を制作するとともに、県民へ優れた作品の鑑賞機会を提供するため、オペラ公演「ヘンゼルとグレーテル」を開催した。

(1) 日時 平成30年12月24日（月・振休）

(2) 会場 倉吉未来中心大ホール

(3) 主催 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会（メイン事業部会）、とりアートオペラ公演実行委員会、鳥取県

(4) 内容

グリム童話「ヘンゼルとグレーテル」をもとにドイツの作曲家エンゲルベルト・フンパーディンクが作曲したオペラを県内の音楽活動者、地元バレエ団、少年少女合唱団等の出演によって上演した。

(5) 開催結果

ア 来場者数 632人

イ 来場者の主な声

- ・出演者の歌唱力、演奏等が素晴らしく、舞台に引き込まれるようだった。
- ・出演者、舞台セット、照明等の全てが良く、このようなレベルの高いオペラを県内で鑑賞できることは素晴らしい。

ウ その他

- ・公演前日に小学生を対象とした通し稽古の見学会を開催した。



【公演の様子】

## 2 地区企画運営事業

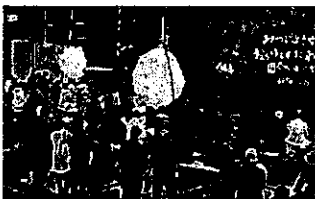
東部・中部・西部の各地区の特色を生かし、地区ごとに誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる企画を実施した。

(1) 主催 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会（各地区企画運営委員会）、鳥取県

(2) 開催日・会場・主な内容・開催結果

区分	開催日・会場	主な内容	開催結果
東部地区	12月8日（土） 9日（日） （とりぎん文化会館）	コンセプト：素敵な偶然～セレンディピティ～ ・地元高校生の書道パフォーマンス、郷土芸能、障がい者団体の創作ダンス、若手音楽家の演奏等 ・地元作曲家9名の新作公開コンサート ・点描画体験、楽器体験、きもの体験等 ・鳥取県出身の写真家の因州和紙を使った作品、あいサポートアート展示	来場者：3,495人 来場者の主な声 ・普段聴く音楽ジャンルとは異なるものが多く、楽しかった。 ・出演者の皆がすばらしかった。若い人が頑張っている。
中部地区	11月10日（土） 11日（日） （倉吉未来中心）	コンセプト：次世代育成 ・キッズバンドによる音楽演奏、少年少女合唱団の合唱、ダンス、伝統芸能等 ・音楽と地酒を楽しむライブイベント ・手作り楽器の作成、楽器体験等 ・園児等の描いた作品等の展示	来場者：5,241人 来場者の主な声 ・毎年楽しみにしており、今年も開催され嬉しく思っている。 ・偶然通りかかり、イベントに参加した。活気があり良かった。
西部地区	9月22日（土） 23日（日） （米子市児童文化センター）	コンセプト：こどもと一緒にアートしよう！ ・保育園マーチングバンド、少年少女合唱団の合唱、障がい者団体の楽器演奏等 ・地元劇団のミュージカル上演 ・絵本・貼り絵作り、からだを使った表現方法を学ぶワークショップ等	来場者：1,811人 来場者の主な声 ・会場内に楽しい催しが盛りだくさんだった。 ・子供向けのワークショップは、配慮が行き届き、安心して参加出来た。

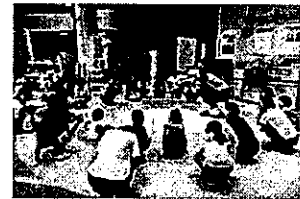
※西部地区は3月17日（日）にアフターワークショップ（音楽とダンスのミニコンサート等）を実施予定。



【東部地区・ステージイベント】



【中部地区・ステージイベント】



【西部地区・ワークショップ】

# 鳥取県立県民文化会館フリースペースの暑さ対策について

平成31年1月21日

文化政策課

鳥取県立県民文化会館のフリースペースについて、建物の構造上、空調が効きづらく、夏季の暑さ対策が課題となっているため、空調機能や日差しを遮る工法等について、比較検討を行ってきましたので、その状況について報告します。

## 1 検討を進めている対策

### ○気化式冷風機、風量の大きい扇風機等の設置

〔特徴等〕

- ・涼風を直接体に感じられ、暑さを効果的に和らげる方法である。
- ・騒音が少なく、所要経費及び光熱費も少ない。
- ・遮光による対策でないため、冬場の日当たりにより暖かさを確保するというフリースペース最大の特徴を維持することが可能であり、現時点で最善の方法と考えられる。

※導入後は、催事等フリースペースの使用状況に応じた配置などを検証しながら効率的に運用する方針としたい。

〔所要経費（見込み）〕

気化式冷風機7台、大型扇風機7台、送風機3台 計3,400千円程度

※大型扇風機については、工場等で使用されている風量の大きいもの

## 2 その他の対策の検討結果

### (1) 空調の増強

#### ①フリースペース及び梨花ホール入口前へのエアコン設置

- ・16台のエアコン機器の新設を検討。エネルギー使用量の増大や、壁面露出配管とした場合でも5千万円程度の経費が必要と見込まれる。

#### ②換気扇によるフリースペース内の排熱

- ・相当の量を換気するため、大型の換気扇による騒音の発生が懸念され、また猛暑のため外気温も高く期待する効果が得られにくいと見込まれる。

### (2) 日差しの遮蔽

#### ①天井への開閉式ブラインド膜（電動式ロールスクリーン、カーテン）の設置

- ・天井部分への維持管理のためのスペース設置など約2億円程度の導入経費が見込まれる。

#### ②固定式の遮光幕の設置、天井への遮光フィルムや遮光塗料の貼付・塗布

- ・遮光幕150枚程度を天井から垂直に垂らす方法や、遮光幕を天井面にドレープ状に固定する方法、天井に遮光フィルムや遮光塗料を貼付・塗布する方法は、導入に約2千万～1億円程度の経費が見込まれる。
- ・冬の日差しを遮ることになり、冬場の日当たりにより暖かさを確保するというフリースペースの特徴を維持できない。
- ・フィルムや塗料は、外側に貼付・塗布した場合5年程度、内側の場合は10年程度で貼換・塗替が必要となる。

## 鳥取県スポーツ顕彰の授与について

平成31年1月21日  
ス ポ ー ツ 課

12月27日に鳥取県スポーツ顕彰授与式を開催し、世界大会等で目覚ましい活躍をした本県ゆかりの選手に「スポーツ顕彰」を、日本代表として顕著な成績を収めた監督、コーチへ「スポーツ功労章」を授与しましたので、報告します。

1 日時 平成30年12月27日(木) 午後1時から午後1時30分まで

2 場所 知事公邸 第一応接室

3 受章者

### 【スポーツ顕彰】

選手氏名	競技名	成績
さいごう ともひろ 西郷 智博	相撲	第22回世界相撲選手権大会 団体優勝、個人3位
こざき ともみ 小笹 知美	ラグビーフットボール	第18回アジア競技大会 優勝
かわなか かおり 川中 香緒里	アーチェリー	第18回アジア競技大会 団体3位

### 【スポーツ功労章】

氏名	競技名	成績
やすい ひろし 安井 博志 [監督]	スポーツライミング	第18回アジア競技大会 メダル獲得 金銀銅各1
にしがき ひとし 西垣 仁志 [監督]	フェンシング	第18回アジア競技大会 メダル獲得 金2、銅6
やすだ ちまさ 安田 千万樹 [コーチ]	水泳・飛込	第18回アジア競技大会 メダル獲得 銅1
やました のぶ 山下 忍 [コーチ]	陸上(車いす)	2018アジアパラ競技大会 メダル獲得 金5、銀11、銅3

※安井監督、西垣監督、安田コーチは代理出席

※第18回アジア競技大会で金メダルの大部由美(おおべゆみ) サッカー日本女子代表コーチは10月12日にスポーツ功労章を授与済



写真：前列左より川中選手、小笹選手、平井知事、西郷選手、山下コーチ  
後列は代理出席者及び競技団体関係者



写真：小笹選手からアジア競技大会で着用したユニフォームのプレゼント



## (参考) 鳥取県スポーツ表彰等受章者一覧

## 鳥取県民栄誉賞受賞者 (スポーツ関係)

氏名	競技(種目)	大会名	成績	受賞年月日
もりした ひろ 森下 広一	陸上(マラソン)	バルセロナオリンピック	準優勝	平成4年9月4日
かわなか かほり 川中香緒里	アーチェリー	ロンドンオリンピック	団体 3位	平成24年9月7日

## 鳥取県スポーツ顕彰

## ○スポーツ顕彰受章者 (No. 1)

氏名	競技(種目)	大会名	成績	受章年月日
やまの さちこ 山下 佐知子	陸上 (マラソン)	バルセロナオリンピック	4位	平成4年9月4日
にしと けん 西本 宣充	ハイトリフィンガ	バルセロナオリンピック	8位	平成4年9月4日
たけやま けい 田宮 啓司	相撲	第3回世界相撲選手権大会	優勝	平成6年12月27日
こむら ひとし 小村 仁志	相撲	第5回世界相撲選手権大会	優勝	平成9年1月21日
わかばやし はるひ 若林 春日	空手道	第14回世界空手道選手権	団体 優勝	平成10年12月4日
たけなか けんたろう 竹中 健太郎	剣道	第11回剣道世界選手権	準優勝	平成12年6月7日
やまもと たかひろ 山本 隆弘	バレーボール	第20回ユニバーシアード競技大会	準優勝	平成12年6月7日
なかつま こうじ 中田 浩二	サッカー	シドニーオリンピック	5位	平成12年11月12日
おほたけ ゆみ 大部 由美	好サッカー	アテネオリンピック	7位	平成17年1月7日
さかいざわ けんいち 境澤 賢一	相撲	第12回世界相撲選手権大会	団体 優勝	平成17年1月7日
うえだ ゆかり 上田 幸佳	新相撲	第5回世界新相撲選手権大会	団体 3位	平成19年3月7日
よしかわ ゆき 芳村 裕生	体操	第15回アジア競技大会	団体 準優勝	平成19年3月7日
ふじい こうすけ 藤井 功輔	カヌー	第15回アジア競技大会	3位	平成19年3月7日
わだみ さとみ 和田見 里美	自転車	2007B世界選手権大会	優勝	平成20年4月25日
つぎ きよこ 津崎 紀久代	陸上 (マラソン)	第25回ユニバーシアード競技大会	準優勝	平成22年3月26日
うさみ りか 宇佐美 里香	空手道	第16回アジア競技大会 第20回世界空手道選手権大会	優勝 3位	平成22年11月30日
うえだ ゆかり 上田 幸佳	相撲	第9回世界女子相撲選手権大会	優勝	平成25年2月4日
うさみ りか 宇佐美 里香	空手道	第21回世界空手道選手権大会	優勝	平成25年2月4日
たにぐち かげ 谷口 彰	スキー	ソチパラリンピック冬季大会	7位	平成26年4月4日
かわはら としゆき 河端 朋之	自転車	第17回アジア競技大会	個人準優勝 団体3位	平成26年9月27日
かわなか かほり 川中 香緒里	アーチェリー	第17回アジア競技大会	団体 3位	平成26年10月2日
うえだ ゆかり 上田 幸佳	相撲	第10回世界女子相撲選手権大会	個人3位 団体3位	平成27年3月18日
ひょうしやうきりゅう 上昇気流	ゲートボール	第11回世界ゲートボール選手権大会	団体 準優勝	平成27年3月18日

○スポーツ顕彰受章者 (No. 2)

氏名	競技(種目)	大会名	成績	受章年月日
照ノ富士春雄	大相撲	平成27年7月場所	大関昇進	平成27年9月2日
富田千愛	ボート	第28回ユニバーシアード競技大会	優勝	平成27年9月20日
上田幸佳	相撲	第11回世界女子相撲選手権大会	団体準優勝	平成27年9月20日
前島浩二	陸上競技 (やり投げ)	第8回アジア太平洋ろう者競技大会	3位	平成28年3月23日
前島博之	陸上競技 (走高跳)	第8回アジア太平洋ろう者競技大会	準優勝	平成28年3月23日
中村開知	陸上競技 (4×100リレー)	第8回アジア太平洋ろう者競技大会	3位	平成28年3月23日
中村洋三	ボウリング (団体)	第8回アジア太平洋ろう者競技大会	団体3位	平成28年3月23日
川中香緒里	アーチェリー	リオデジャネイロオリンピック	団体8位	平成29年1月21日
前島博之	陸上競技 (十種競技・走高跳)	第23回夏季デフリンピック競技大会	十種競技4位 走高跳5位	平成29年8月8日
河端朋之	自転車 (男子ケイリン)	2018UCIトラック世界選手権大会	準優勝	平成30年3月13日
西郷智博	相撲	第22回世界相撲選手権大会	団体優勝 個人3位	平成30年12月27日
小笹知美	ラグビーフットボール	第18回アジア競技大会	優勝	平成30年12月27日
川中香緒里	アーチェリー	第18回アジア競技大会	団体3位	平成30年12月27日

○スポーツ功労章受章者 (監督・コーチ)

氏名	競技(種目)	大会名	獲得メダル等成績	受章年月日
大部由美	女子サッカー コーチ	第18回アジア競技大会	金1	平成30年10月12日
安井博志	スポーツライミング 監督	第18回アジア競技大会	金1 銀1、銅1	平成30年12月27日
西垣仁志	フェンシング 監督	第18回アジア競技大会	金2、銅6	平成30年12月27日
安田千万樹	飛込 コーチ	第18回アジア競技大会	銅1	平成30年12月27日
山下忍	陸上競技 (車いす) コーチ	インドネシア2018アジアパラ競技大会	金5、銀11 銅3	平成30年12月27日

鳥取県デフリンピック特別スポーツ顕彰受章者

氏名	競技(種目)	大会名	成績	受章年月日
中村開知	陸上競技 (4×100リレー)	第23回夏季デフリンピック競技大会	優勝	平成29年8月8日
前島奈美	バレーボール (団体)	第23回夏季デフリンピック競技大会	優勝	平成29年8月8日

## 2 巡目国体に係る最近の動きについて

平成31年1月21日

スポーツ課

平成31年1月16日の日本スポーツ協会平成30年度第5回理事会において、島根県が2029年、鳥取県が2033年の国体(国民スポーツ大会)の開催申請書提出順序了解県として、それぞれ決定しました(いわゆる「内々定」)。また、これに先立ち同年1月15日には、島根県との協力開催のあり方を具体化させていくために、実務者レベルで協議していくための両県連絡調整会議を立ち上げました。

### 1 内々定までの動き

#### ○平成30(2018)年

- 10月15日 2033年の2巡目国体招致を県議会全会一致で決議
- 11月12日 島根・鳥取両県知事協議(協力しながら準備をすすめることを確認)
- 11月13日 日本スポーツ協会及び文部科学省に国体開催要望書を提出(知事、教育長、県体協会長)
- 12月13日 日本スポーツ協会が国体委員会で、国民スポーツ大会(2023年から名称変更予定)を2029年は島根県、2033年は鳥取県で開催する方針を確認
- 12月25日 県内市町村との2巡目国体の開催に係る意見交換会(県)

#### ○平成31(2019)年

- 1月15日 両県連絡調整会議の立ち上げ
- 1月16日 日本スポーツ協会理事会において、島根県(2029年)と鳥取県(2033年)が開催申請書提出順序了解県として決定

### 2 2巡目国体等に係る両県連絡調整会議の立ち上げ

#### 〈第1回両県連絡調整会議〉

- 日時 平成31年1月15日(火)午後3時15分から午後4時45分まで
- 場所 島根県庁
- 出席者 【鳥取県】鳥取県地域振興部 太田 裕司 スポーツ振興監  
鳥取県体育協会 後藤 裕明 専務理事 ほか  
【島根県】島根県政策企画局 野津 建二 局長  
島根県体育協会 安井 克久 専務理事 ほか
- 内容 協力開催のあり方について検討
  - ①今後検討すべき事項について確認
    - ・協力開催競技、会場
    - ・人的体制のあり方
    - ・その場合の費用負担
    - ・競技力向上に係る連携
  - ②両県の競技施設の現状等について意見交換

### 3 市町村との意見交換会

- 日時 平成30年12月25日(火)午後1時30分から午後2時45分まで
- 場所 倉吉体育文化会館
- 内容 これまでの動き、今後の想定スケジュール等の報告  
意見交換等(競技会場地の決定手順、施設整備の考え方について等)

### 4 今後の想定スケジュール

- 2019年(14年前)～実務者レベルで島根県と協力開催のあり方について協議を進める(会場地、人的体制、経費負担等の考え方)

～以降～

- 2028年(5年前) 国民スポーツ大会(国スポ)開催申請書の提出(5年前)、鳥取国スポ開催の内定
- 2029年(4年前) 島根国スポ等開催
- 2030年(3年前) 鳥取国スポ等の開催決定、国スポ等実行委員会設立
- 2033年 鳥取国スポ等開催

